

第4章 PCAP、副専攻プログラム、全学オープン科目

1. PCAP、副専攻プログラム、全学オープン科目とは

本学を卒業するためには、共通教育科目 36 単位、専門教育科目 64 単位（経済学部のみ 74 単位）を含め 124 単位以上を修得することが要件となります。つまり、共通教育及び専門教育科目で卒業要件として定められている以外の「24 単位（経済学部のみ 14 単位）」については、学生個人の主体的意欲・創意工夫に基づき、自身で履修計画を立てる必要があります。

【24 単位（経済学部のみ 14 単位）の活用例】

- ・ 所属学科の「専門教育科目」の中から数科目、「共通教育科目」の中から数科目、「全学オープン科目」の中から数科目といったように、自身の興味・関心に従って自由に組み合わせて履修する。
- ・ 「副専攻プログラム」の指定科目を修得することにより、所属学科の卒業証書とは別に「副専攻修了証」の授与を受ける。
- ・ 自分の所属する学科の「専門教育科目」について、64 単位（経済学部のみ 74 単位）を超えて修得し、その専門性についてより高い水準を目指す。
- ・ 全学の共通教育として開講されている「共通教育科目」について、36 単位を超えて修得し、幅広い視野や総合的な判断力を養うことを目指す。
- ・ 各学部・学科が全学に開放している「全学オープン科目」を修得することによって、学際的な視野を持った学識を有することを目指す。

【PCAP（全学共通実践的キャリア開発プログラム）】

PCAP（Practical Career Advancement Program）は、卒業後の進路目標を明示した、全学共通の実践的なキャリア開発プログラムです。プログラムには 2 つのコースがあり、どの学部の学生もコース登録することができます。プログラムを構成する科目を履修して修得した単位は、卒業要件単位として算入されます。

【副専攻プログラム】

本学では学生自らの知的好奇心と学修意欲に基づいた履修に応えるため、「副専攻」制度を導入しています。これは、自分の所属する学科以外の専門教育を体系的に履修することができる制度です。

副専攻には、10 のプログラムが設定されており、これによって各自がその興味に基づき専攻以外の分野についても計画的、体系的に学ぶことが可能となっています（P98～参照）。副専攻プログラムの特徴は、

- ・ 主に、各学部・学科から提供された専門教育科目を組織化したプログラム
- ・ 学部・学科の専攻コースの枠を超えた学際的プログラム
- ・ 資格や免許取得を目指すための基礎学修的なプログラム

からできているということです。副専攻は、1 年次から登録することが可能で、所属学科以外の専門的な教育を受けることが可能になります。各プログラムで設定された単位を修得することで、所属学科の卒業証書に加え「副専攻修了証」が授与されます。

なお、副専攻プログラムの履修登録にあたっては、所属する学科の専門教育科目として開講されている科目や他学部・学科の学生が履修できない科目もありますので、当該年度の『WEB 時間割表』を確認してください。

【全学オープン科目】

所属学科以外の専門教育科目を履修したい場合は、各学部・学科が全学に開放している「全学オープン科目」（P107～参照）から、自身の興味・関心に基づき自由に履修することが可能です。修得した単位は、24 単位（経済学部のみ 14 単位）を上限に卒業要件（124 単位）に算入されます。

なお、全学オープン科目であっても、所属する学科の専門教育科目として開講されている科目や他学部・学科の学生が履修できない科目もありますので、履修登録にあたっては、『WEB 時間割表』を確認してください。

Ⅱ. PCAP（全学共通実践的キャリア開発プログラム）

1. パブリックサービスキャリア・コース＜24 単位＞

公務員試験（国家、地方）受験に必要な法律学や行政学などを体系的に学び、試験対策指導を行うコースです。1 年次にコース登録をします。

PCAP 共通基礎科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	論理・推理・解釈	半期	2	2・3	2 単位必修	「数的推論Ⅱ」を修得していることが望ましい
	基礎法律学Ⅰ※ ¹	半期	2	1・2	基礎法律学Ⅰ 4 単位を含め 8 単位以上	
経済学部専門教育科目 または共通教育科目	経済理論入門	半期	2	1		
	統計入門	半期	2	1		
専門教育科目※ ² または全学オープン科目	財政の基礎	半期	2	3※ ³		

パブリックサービスキャリア専攻科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	基礎法律学Ⅱ※ ¹	半期	2	2・3	8 単位以上	
	応用法律学※ ¹	半期	2	2・3		
法学部専門教育科目 または全学オープン科目	行政組織法	半期	2	3・4		
	地方自治法	半期	2	3・4		
	政治学概論	半期	2	1		
	行政学 A	半期	2	2		
	行政学 B	半期	2	2		
	公共政策	半期	2	2		
共通教育科目	論述問題演習	半期	2	3・4	4 単位必修	複数履修可
	パブリックサービス・インターンシップ (1)	半期	1	2・3		
	パブリックサービス・インターンシップ (2)	半期	2	2・3		

※1（ ）内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可。

※2 史学科・経済学科・法律学科政治専攻のみ専門教育科目として履修可。

※3 史学科・経済学科・法律学科政治専攻のみ開講学年 2 年

【3 年次以降の履修制限について】

パブリックサービスキャリア・コースについては、3 年次以降の履修に制限が設けられています。履修を継続するには、以下の①～③の履修条件をすべて満たす必要がありますので、注意してください。

- ① 2 年次終了時まで「数的推論Ⅱ」1 科目 2 単位を修得すること
- ② 2 年次終了時まで「基礎法律学Ⅰ」2 科目 4 単位以上を修得すること
- ③ 2 年次 2 月に行う「一般知能・一般知識」の試験で所定の得点を獲得すること

2. グローバルキャリア・コース<24 単位>

実業の世界で国際的な仕事に従事することができる、グローバルビジネスの即戦力を育成するコースです。
2 年次にコース登録をします。コース登録にあたって、英語力と GPA に条件を設けます。

PCAP 共通基礎科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	論理・推理・解釈	半期	2	2・3	2 単位必修	「数的推論Ⅱ」を修得していることが望ましい
	基礎法律学Ⅰ※ ¹	半期	2	1・2	4 単位以上	
経済学部専門教育科目 または共通教育科目	経済理論入門	半期	2	1		
	統計入門	半期	2	1		
専門教育科目※ ³ または全学オープン科目	財政の基礎	半期	2	3※ ⁴		

グローバルキャリア専攻科目

ADVANCED ENGLISH

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	Qualification English	半期	2	2	2 単位必修	
	Business English Writing	半期	2	2	2 単位必修	
	Advanced Business English	半期	2	2	2 単位必修	

グローバル教養科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	Japan Studies	半期	2	2	4 単位以上	Area Studies International Politics
法学部専門教育科目 または全学オープン科目	地域研究演習	半期	2	3・4		
	地域研究※ ¹	半期	2	3・4		
	環境政治学	半期	2	3・4		
	平和研究	半期	2	3・4		

グローバルキャリア科目

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	基礎法律学Ⅱ※ ¹	半期	2	2・3	8 単位以上	
	Economics of GlobalizationⅠ	半期	2	2・3		
	Economics of GlobalizationⅡ	半期	2	2・3		
経済学部専門教育科目 または全学オープン科目	国際経済※ ²	半期	2	3※ ³		International Economics
	国際通貨と国際金融※ ²	半期	2	3		International Finance
	国際会計※ ²	半期	2	3		International Financial Reporting Standards

グローバルインターンシップ&セミナー

区分	授業科目	開講	単位	学年	履修方法	備考
共通教育科目	グローバルインターンシップ&セミナー	半期	2	2・3		

※1 () 内のテーマが異なれば同一の授業科目でも複数履修可。

※2 履修に際しては、単位修得が条件となる科目があります。詳細については P113 を参照してください。

※3 史学科・経済学科・法律学科政治専攻のみ専門教育科目として履修可。

※4 史学科・経済学科・法律学科政治専攻のみ開講学年 2 年

Ⅲ. 副専攻プログラム

【1. 日本語教育（日本語教員養成課程）＜26 単位＞】

日本語教育に関する知識を、言語、教育、社会・文化・地域に関わる領域から体系的に学ぶことにより、多様な日本語教育の現場に対応した教師としての資質を磨きます。修了証は日本語教育機関の教員の条件の1つに相当するので、これらの知識は、異文化共生時代を迎えた日本、及び国際交流の進む海外における活動の選択肢を広げることに役立つでしょう。

日本語教員には、国や自治体などの公的機関による認定や国家試験による統一的な資格認定の制度はありませんが、法務省が「日本語教育機関の告示基準（以下、「新基準」という。）」を公示し（平成 28 年 7 月 22 日策定、平成 29 年 8 月 1 日施行）、法務省告示校に勤める全教員は、以下の資格のいずれかを満たす必要があると規定されています。

「新基準第 1 条第 1 項第 13 号」に定める日本語教員の要件

- イ 大学（短期大学を除く。以下この号において同じ。）又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者
- ロ 大学又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を 26 単位以上修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者
- ハ 公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者
- ニ 学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを 420 単位時間以上受講し、これを修了した者
- ホ その他イからニまでに掲げる者と同等以上の能力があると認められる者

國學院大學の副専攻「日本語教育（日本語教員養成課程）」は、上記の「新基準第 1 条第 1 項第 13 号のロ」に該当し、修了証も発行されるので、法務省告示校を含む日本語教育機関の教員募集の応募の際に使用することができます。修了証には、「本課程は、日本語教育機関の告示基準（法務省入国管理局平成 28 年 7 月 22 日策定）第 1 条第 1 項第 13 号ロで求められた日本語教育に関する科目 26 単位以上を修得する教育課程であることを証します。」と明記されます。

新基準		科目 区分	科目 供出	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	備考
領域	区分										
社会・文化・地域に関わる領域 教育に関わる領域 言語に関わる領域	社会・文化・地域	選択必修	共通	國學院の学び(日本語教育の歴史)	半期	2	○				2 単位以上
			史	日本史概論Ⅰ	半期	2	○				
			史	日本史概論Ⅱ	半期	2	○				
			法	日本政治史 A	半期	2	○				
			法	日本政治史 B	半期	2	○				
			神文	日本宗教文化論Ⅰ	半期	2	○				
			神文	日本宗教文化論Ⅱ	半期	2	○				
			哲	日本思想史 A	半期	2	○				
			哲	日本思想史 B	半期	2	○				
			日文	日本文学史Ⅰ	半期	2		○			
			日文	日本文学史Ⅱ	半期	2		○			
			経済	現代日本経済	半期	2			○		
			経済	日本経済と政策	半期	2			○		
			法	地方自治論 A	半期	2				○	
			法	地方自治論 B	半期	2				○	

新基準		科目 区分	科目 供出	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	備考
領域	区分										
社会・文化・地域に関わる領域 教育に関わる領域 言語に関わる領域	言語と社会	選択必修	共通	英語Ⅲ(留学先の大学名＋短期留学)※1	半期	2	○				2 単位以上
			共通	留学中国語	半期	2	○				
			日文	言語学概論Ⅰ	半期	2		○			
			日文	言語学概論Ⅱ	半期	2		○			
			日文	現代日本語研究Ⅰ	半期	2			○		
			日文	現代日本語研究Ⅱ	半期	2			○		
			日文	日本語学各論Ⅰ	半期	2			○		
			日文	日本語学各論Ⅱ	半期	2			○		
			中文	中国語教養特殊講義 A	半期	2				○	
			中文	中国語教養特殊講義 B	半期	2				○	
	言語と心理	選択必修	哲	言語論 A	半期	2				○	2 単位以上
			哲	言語論 B	半期	2				○	
	言語と教育	選択必修	日文	日本語教育実習Ⅰ	集中	1				○	1 単位以上
			日文	日本語教育実習Ⅱ※2	集中	2				○	
		選択必修	日文	日本語教授法Ⅰ	半期	2		○			6 単位以上
			日文	日本語教授法Ⅱ	半期	2		○			
			日文	日本語教育研究Ⅰ	半期	2			○		
			日文	日本語教育研究Ⅱ	半期	2			○		
			日文	日本語教育学演習ⅠA※4	半期	2				○	
			日文	日本語教育学演習ⅠB※4	半期	2				○	
			日文	日本語教育学演習ⅡA※4	半期	2				○	
			日文	日本語教育学演習ⅡB※4	半期	2				○	
	言語	選択必修	中文	日本語学概論Ⅰ※3	半期	2	○				4 単位以上
			中文	日本語学概論Ⅱ※3	半期	2	○				
			外文	日本語学Ⅰ	半期	2				○	
			外文	日本語学Ⅱ	半期	2				○	
			日文	日本語史Ⅰ	半期	2		○			4 単位以上
			日文	日本語史Ⅱ	半期	2		○			
			日文	日本語学史Ⅰ	半期	2			○		
			日文	日本語学史Ⅱ	半期	2			○		
			日文	日本語音声学Ⅰ	半期	2			○		
			日文	日本語音声学Ⅱ	半期	2			○		
			日文	現代日本語文法Ⅰ	半期	2		○			
			日文	現代日本語文法Ⅱ	半期	2		○			
合計											26 単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 短期留学等に参加することにより単位認定された科目が対象（詳細は P10. 11 を参照）

※2 「日本語教育実習Ⅱ」については、面談などの選抜により、2 年次での参加を許可することもある。ただし、その場合の単位認定時期は、3 年次とする。

※3 日本文学科及び初等教育学科の学生は、「日本語学概論Ⅰ・Ⅱ」を履修することができないため、専門教育科目「日本語学概説Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得することによって、この「4 単位」の部分に充当することができる。

※4 「日本語教育学演習Ⅰ・Ⅱ」の A・B の組み合わせについては、原則として同一教員の授業を同一の年度内に履修することとする。

【2. 民俗と文化（日本文学科の学生は登録不可）＜16 単位＞】

「民俗」とは、民間の風俗、習慣、伝承などの総体です。儀礼や舞踊なども含まれます。つまり、日本の民衆が、古来、生活のなかで繰り返し実践してきたことをまとめて、客観的・体系的に学ぶのがこのプログラムです。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	備考
選択必修科目	日文	民俗学史Ⅰ	半期	2		○			16 単位以上
	日文	民俗学史Ⅱ	半期	2		○			
	日文	伝承文学史Ⅰ	半期	2			○		
	日文	伝承文学史Ⅱ	半期	2			○		
	日文	日本民俗学Ⅰ	半期	2			○		
	日文	日本民俗学Ⅱ	半期	2			○		
	日文	口承文芸研究Ⅰ	半期	2			○		
	日文	口承文芸研究Ⅱ	半期	2			○		
	日文	儀礼文化論Ⅰ	半期	2			○		
	日文	儀礼文化論Ⅱ	半期	2			○		
	日文	伝承文学思想	半期	2				○	
	日文	民俗研究思想	半期	2				○	
合計									16 単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

【3. 日本の歴史を知る（史学科の学生は登録不可）＜16 単位＞】

私たちの国、日本の歴史について、その全体像、区分された時代、政治・美術・思想といった各分野の歴史を体系的に学びます。現代につながる生きた歴史を知することは、私たち自身を知るためのもっともよい方法です。外国の人に日本を説明する基礎知識になります。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	備考
選択必修科目	史	日本史概論Ⅰ	半期	2	○				4 単位以上
	史	日本史概論Ⅱ	半期	2	○				
	史	考古学概論Ⅰ	半期	2	○				
	史	考古学概論Ⅱ	半期	2	○				
選択科目	史	日本時代史Ⅰ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅱ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅲ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅳ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅴ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅵ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅶ	半期	2	○				
	史	日本時代史Ⅷ	半期	2	○				
	史	有職故実Ⅰ	半期	2		○			
	史	有職故実Ⅱ	半期	2		○			
	史	日本文化史Ⅰ	半期	2		○			
	史	日本文化史Ⅱ	半期	2		○			
合計									16 単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

【4. 政治と法の基礎（比較研究）（法学部の学生は登録不可）＜16 単位＞】

このプログラムでは、法や政治の現状、及びそれぞれが社会において果たす機能を国際的な比較の観点から把握し、分析することの基本を学びます。そうすることによって、法や政治における普遍的なものを理解することができ、そこから、日本におけるそれらの特徴をよりよく理解できるようになるでしょう。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	備考
選択必修科目	共通	法学（日本国憲法）	半期	2	○				16 単位以上
	専門教養	国際政治入門	半期	2	○				
	専門教養	比較政治入門	半期	2	○				
	専門教養	地域研究入門	半期	2	○				
	専門教養	比較法入門	半期	2	○				
	法	政治学概論	半期	2	○				
	法	国際政治 A	半期	2		○			
	法	国際政治 B	半期	2		○			
	法	日本の政治 A	半期	2		○			
	法	日本の政治 B	半期	2		○			
	法	外国法 A	半期	2				○	
	法	外国法 B	半期	2				○	
	法	比較政治 A	半期	2				○	
	法	比較政治 B	半期	2				○	
	法	地域研究	半期	2				○	
合計									16 単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

【5. 政治と法の基礎（歴史研究）（法学部の学生は登録不可）＜16 単位＞】

このプログラムでは、法や政治のあり方、及びそれぞれが社会において果たす機能を歴史的な比較の観点から把握し、分析することの基本を学びます。現代の法や政治がどのような歴史的背景をもって形成されてきたのかを知り、また、それらがどうあるべきだと考えられてきたかを知ることを通じて、それらのあり方をよりよく理解できるようになるでしょう。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	備考
選択必修科目	専門教養	法史学入門	半期	2	○				16 単位以上
	法	日本政治史 A	半期	2	○				
	法	日本政治史 B	半期	2	○				
	法	西洋政治史 A	半期	2	○				
	法	西洋政治史 B	半期	2	○				
	法	国際関係史 A	半期	2	○				
	法	国際関係史 B	半期	2	○				
	法	日本政治思想史 A	半期	2		○			
	法	日本政治思想史 B	半期	2		○			
	法	西洋政治思想史 A	半期	2		○			
	法	西洋政治思想史 B	半期	2		○			
	法	アジア政治史 A	半期	2		○			
	法	アジア政治史 B	半期	2		○			
	法	法制史 A	半期	2				○	
	法	法制史 B	半期	2				○	
合計									16 単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

【6. 経済学の基礎※1・2（経済学部学生は登録不可）＜16単位＞】

経済学の基本的な分野について体系的に学びます。「マクロ経済学」「ミクロ経済学」を基本に、財政や金融、地域・都市経済、日本経済、国際経済などに加え、統計を用いた分析手法なども学んでいきます。経済学を用いて現代社会を分析する視野を身につけます。なお、共通教育プログラムの専門教養科目群で「経済学」のパッケージを修得するとよいでしょう。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1年	2年	3年	4年	備考
選択必修科目	経済	マクロ経済Ⅰ◆ ¹	半期	2		○			4単位以上
	経済	ミクロ経済Ⅰ◆ ¹	半期	2		○			
	経済	財政の基礎	半期	2			○		
	経済	金融の基礎	半期	2			○		
選択科目	経済	マクロ経済Ⅱ◇ ¹	半期	2		○			
	経済	ミクロ経済Ⅱ◇ ¹	半期	2		○			
	経済	ビジネスリサーチ◇ ²	半期	2		○			
	経済	現代日本経済	半期	2			○		
	経済	国際経済◆ ²	半期	2			○		
	経済	労働経済◇ ³	半期	2			○		
	経済	社会経済学	半期	2			○		
	経済	地域と都市の経済◇ ¹	半期	2			○		
合計									16単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 経済学は積み上げ型の学問です。◇のついている授業科目の履修に際しては、単位修得が条件となる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目
◇1	経済理論入門（専門教養）	◇2	経済経営数学入門（専門教養）	◇3	現代日本経済

※2 ◆のついている授業科目の履修に際しては、事前に単位修得が望まれる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	事前に単位修得が望まれる科目	記号	事前に単位修得が望まれる科目
◆1	経済理論入門（専門教養）	◆2	世界経済入門（専門教養）

【7. 経営学の基礎※^{1・2}（経済学部¹の学生は登録不可）＜16 単位＞】

経営学の基本的な分野について体系的に学びます。ヒト・モノ・カネといった経営資源の管理、経営の戦略と組織、マーケティングなど経営学の基礎的用語、理論、フレームワークについて、統計手法や会計スキル、事例や歴史を踏まえて理解し、現実の企業行動を分析できる視座を身につけます。なお、共通教育プログラムの専門教養科目群で「経営学」のパッケージを修得するとよいでしょう。

科目区分	所属	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	備考
選択必修科目	経済	経営戦略◇ ¹	半期	2			○		4 単位以上
	経済	経営組織◇ ¹	半期	2			○		
	経済	マーケティングの基礎◇ ¹	半期	2			○		
	経済	財務会計◇ ²	半期	2			○		
選択科目	経済	ビジネスリサーチ◇ ³	半期	2		○			
	経済	現代ビジネス◇ ¹	半期	2			○		
	経済	企業財務◇ ¹	半期	2			○		
	経済	国際経営◇ ¹	半期	2			○		
	経済	経営史◆ ¹	半期	2			○		
	経済	予算管理◇ ²	半期	2			○		
	経済	原価計算◇ ²	半期	2			○		
合計									16 単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 ◇のついている授業科目の履修に際しては、単位修得が条件となる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目
◇1	経営入門(専門教養)	◇2	会計入門(専門教養)	◇3	経済経営数学入門(専門教養)

※2 ◆のついている授業科目の履修に際しては、事前に単位修得が望まれる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	事前に単位修得が望まれる科目
◆1	経営入門(専門教養)

【8. 神道文化を学ぶ（神道文化学部の学生は登録不可）＜16 単位＞】

神道は日本文化の多様性や寛容性を理解するための重要な鍵です。このプログラムでは神道の歴史や思想に関する基幹的な科目を学んで基礎的な知識を習得し、さらに古典・芸能などにみられる神道の影響を学ぶことにより、幅広い日本の神道文化の諸相を理解することができます。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	備考
選択必修 科目Ⅰ	神文	神道史学ⅠA	半期	2	○				8 単位以上
	神文	神道史学ⅠB	半期	2	○				
	神文	古典講読ⅠA	半期	2	○				
	神文	古典講読ⅠB	半期	2	○				
	神文	神道史学ⅡA	半期	2		○			
	神文	神道史学ⅡB	半期	2		○			
	神文	神道思想史学Ⅰ	半期	2		○			
	神文	神道思想史学Ⅱ※1	半期	2		○			
	神文	国学概論Ⅰ	半期	2		○			
	神文	国学概論Ⅱ	半期	2		○			
	神文	祭祀学Ⅰ	半期	2			○		
	神文	祭祀学Ⅱ※2	半期	2			○		
選択必修 科目Ⅱ	神文	日本宗教文化論Ⅰ	半期	2	○				8 単位以上
	神文	日本宗教文化論Ⅱ	半期	2	○				
	神文	宗教考古学Ⅰ	半期	2		○			
	神文	宗教考古学Ⅱ	半期	2		○			
	神文	比較文化学Ⅰ	半期	2		○			
	神文	比較文化学Ⅱ	半期	2		○			
	神文	仏教文化研究Ⅰ	半期	2		○			
	神文	仏教文化研究Ⅱ	半期	2		○			
	神文	神道と環境Ⅰ	半期	2		○			
	神文	神道と環境Ⅱ	半期	2		○			
	神文	教派神道研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	教派神道研究Ⅱ	半期	2			○		
	神文	宗教芸術研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	宗教芸術研究Ⅱ	半期	2			○		
合計									16 単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1「神道思想史学Ⅰ」を修得していること。

※2「祭祀学Ⅰ」を修得していること。

【9. 宗教文化（神道文化学部）の学生は登録不可）＜16 単位＞】

このプログラムは大きく 2 つの選択必修科目群に区分されています。1 つめは、宗教についての概念や研究方法などの基本的な要素について理解するための科目であり、2 つめはさまざまな宗教文化の歴史的展開や、現代社会のなかでの意味を学ぶための科目です。両方の科目群をバランスよく学びながら、国際化・情報化が進む現代社会で相互理解を深めつつ活躍できる力を養います。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	備考
選択必修科目Ⅰ	神文	宗教学Ⅰ	半期	2	○				4 単位以上
	神文	宗教学Ⅱ	半期	2	○				
	神文	世界宗教文化論Ⅰ	半期	2	○				
	神文	世界宗教文化論Ⅱ	半期	2	○				
	神文	日本宗教文化論Ⅰ	半期	2	○				
	神文	日本宗教文化論Ⅱ	半期	2	○				
	神文	宗教社会学Ⅰ	半期	2		○			
	神文	宗教社会学Ⅱ	半期	2		○			
選択必修科目Ⅱ	神文	比較文化Ⅰ	半期	2		○			4 単位以上
	神文	比較文化Ⅱ	半期	2		○			
	神文	キリスト教文化研究Ⅰ	半期	2		○			
	神文	キリスト教文化研究Ⅱ	半期	2		○			
	神文	仏教文化研究Ⅰ	半期	2		○			
	神文	仏教文化研究Ⅱ	半期	2		○			
	神文	神道と国際交流Ⅰ	半期	2			○		
	神文	神道と国際交流Ⅱ	半期	2			○		
	神文	中東文化研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	中東文化研究Ⅱ	半期	2			○		
	神文	東アジア文化研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	東アジア文化研究Ⅱ	半期	2			○		
	神文	神道と情報化社会Ⅰ	半期	2			○		
	神文	神道と情報化社会Ⅱ	半期	2			○		
	神文	教派神道研究Ⅰ	半期	2			○		
	神文	教派神道研究Ⅱ	半期	2			○		
合計									16 単位以上

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※ 本プログラム修了者は、日本宗教学会・「宗教と社会」学会と連携して運営される宗教文化教育推進センターによる「宗教文化士」資格の単位認定科目を満たします。詳細は、本学ホームページを確認してください。

【10. 古典教育研究※1・5＜16 単位＞】

本学が全学規模のスローガンとして掲げる「教職の國學院」に基づき、本学の学統の強靱さを背景に「古典教育のプロフェッショナル」を養成するためのプログラムです。一般的な国語科教員免許の取得にとどまらず、「古典研究の國學院」という伝統・学統を継承、発展させる能力を修得し、古典研究の専門性を活かした教育のできる教員の養成を目的としています。

科目区分	科目供出	授業科目名	開講	単位	1 年	2 年	3 年	4 年	日本文学科	中国文学科
必修 科目Ⅰ	日文	古典教育研究Ⅰ	半期	2			○		4 単位	4 単位
	日文	古典教育研究Ⅱ	半期	2			○			
必修 科目Ⅱ※2	日文	基礎漢文学	半期	2	○				2 単位	履修不可
選択必修 科目Ⅰ	専門教養※4	日本上代文学研究Ⅰ	半期	2		○			4 単位以上	4 単位以上
	専門教養※4	日本上代文学研究Ⅱ	半期	2		○				
	専門教養※4	日本中古文学研究Ⅰ	半期	2		○				
	日文	日本中古文学研究Ⅱ	半期	2		○				
	日文	日本中世文学研究Ⅰ	半期	2			○			
	日文	日本中世文学研究Ⅱ	半期	2			○			
	日文	日本近世文学研究Ⅰ	半期	2			○			
	日文	日本近世文学研究Ⅱ	半期	2			○			
選択必修 科目Ⅱ	中文	中国古典読法基礎	半期	2	○				3 年次 以降に 6 単位以上	4 単位以上
	中文	中国文学基礎Ⅰ	半期	2		○				
	中文	中国文学基礎Ⅱ	半期	2		○				
	中文	中国原典研究Ⅰ	半期	2			○			
	中文	中国原典研究Ⅱ	半期	2			○			
	日文	基礎日本古典語Ⅰ※3	半期	2	○				2 単位以上	
	日文	基礎日本古典語Ⅱ※3	半期	2	○					
選択科目	日文	日本語学史Ⅰ	半期	2			○			
	日文	日本語学史Ⅱ	半期	2			○			
	日文	古代日本語文法Ⅰ	半期	2			○			
	日文	古代日本語文法Ⅱ	半期	2			○			
合計									16 単位以上	

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※1 日本文学科以外の学生が取得しようとする場合は、中国文学科の履修条件に準じます。

※2 中国文学科の学生は、「基礎漢文学」を修得する必要がありません。

※3 日本文学科の学生は、「基礎日本古典語Ⅰ」「基礎日本古典語Ⅱ」は選択科目です。

※4 日本文学科の学生は専門科目、日本文学科以外の文学部の学生は、全学オープン科目として算入されます。

※5 副専攻プログラムとしての履修登録時期は3 年次以降です。

Ⅳ. 全学オープン科目

【日本文学科開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
基礎日本古典語Ⅰ	半期	2	1・2
基礎日本古典語Ⅱ	半期	2	1・2
日本語教育学演習ⅠA※ ³	半期	2	3・4
日本語教育学演習ⅠB※ ³	半期	2	3・4
日本語教育学演習ⅡA※ ³	半期	2	3・4
日本語教育学演習ⅡB※ ³	半期	2	3・4
日本文学史Ⅰ	半期	2	2
日本文学史Ⅱ	半期	2	2
日本上代文学研究Ⅰ※ ¹	半期	2	2
日本上代文学研究Ⅱ※ ¹	半期	2	2
日本中古文学研究Ⅰ※ ¹	半期	2	2
日本中古文学研究Ⅱ	半期	2	2
日本中世文学研究Ⅰ	半期	2	3・4
日本中世文学研究Ⅱ	半期	2	3・4
日本近世文学研究Ⅰ	半期	2	3・4
日本近世文学研究Ⅱ	半期	2	3・4
日本語史Ⅰ	半期	2	2
日本語史Ⅱ	半期	2	2
日本語学史Ⅰ	半期	2	3
日本語学史Ⅱ	半期	2	3
言語学概論Ⅰ	半期	2	2
言語学概論Ⅱ	半期	2	2
日本語音声学Ⅰ	半期	2	3
日本語音声学Ⅱ	半期	2	3
古代日本語文法Ⅰ	半期	2	3
古代日本語文法Ⅱ	半期	2	3
現代日本語文法Ⅰ	半期	2	2
現代日本語文法Ⅱ	半期	2	2
現代日本語研究Ⅰ	半期	2	3
現代日本語研究Ⅱ	半期	2	3
日本語学各論Ⅰ	半期	2	3
日本語学各論Ⅱ	半期	2	3
日本語教授法Ⅰ	半期	2	2
日本語教授法Ⅱ	半期	2	2
日本語教育研究Ⅰ	半期	2	3

授業科目	開講	単位	学年
日本語教育研究Ⅱ	半期	2	3
日本語教育実習Ⅰ	集中	1	3
日本語教育実習Ⅱ	集中	2	3
民俗学史Ⅰ	半期	2	2
民俗学史Ⅱ	半期	2	2
伝承文学史Ⅰ	半期	2	3
伝承文学史Ⅱ	半期	2	3
日本民俗学Ⅰ	半期	2	3
日本民俗学Ⅱ	半期	2	3
口承文芸研究Ⅰ	半期	2	3
口承文芸研究Ⅱ	半期	2	3
儀礼文化論Ⅰ	半期	2	3
儀礼文化論Ⅱ	半期	2	3
伝承文学研究Ⅰ	半期	2	2
伝承文化研究Ⅰ	半期	2	2
伝承文学思想	半期	2	3・4
民俗研究思想	半期	2	3・4
日本書道史Ⅰ※ ²	半期	2	3
日本書道史Ⅱ※ ²	半期	2	3
中国書道史Ⅰ※ ²	半期	2	2
中国書道史Ⅱ※ ²	半期	2	2
書道概論※ ²	半期	2	1
書論研究※ ²	半期	2	3
古筆学※ ²	半期	2	3
篆書法篆刻学※ ²	半期	2	3
隸書法※ ²	半期	2	3
出版文化論Ⅰ	半期	2	3
出版文化論Ⅱ	半期	2	3
放送文化論Ⅰ	半期	2	3
放送文化論Ⅱ	半期	2	3
古典教育研究Ⅰ	半期	2	3
古典教育研究Ⅱ	半期	2	3

※1 文学部以外の学生は、専門教養として履修可。

※2 文学部及び神道文化学部の学生のみ履修可。

※3 「日本語教育学演習Ⅰ・Ⅱ」のA・Bの組み合わせについては、原則として同一教員の授業を同一の年度内に履修することとする。

【中国文学科開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
中国古典読法基礎 ^{※1}	半期	2	1
中国学入門 ^{※1}	半期	2	1
中国文学概説 ^{※3}	半期	2	1
中国原典研究Ⅰ ^{※1}	半期	2	3・4
中国原典研究Ⅱ ^{※1}	半期	2	3・4
中国古典の世界 ^{※2}	半期	2	1
中国文学基礎Ⅰ ^{※1}	半期	2	2
中国文学基礎Ⅱ ^{※1}	半期	2	2
中国文学基礎Ⅲ	半期	2	2
現代中国の世界 ^{※2}	半期	2	1
中国語教養基礎Ⅰ	半期	2	2
中国文化の世界 ^{※2}	半期	2	1
中国「君子」の世界 ^{※2}	半期	2	1
中国文学特殊講義A	半期	2	3・4
中国文学特殊講義B	半期	2	3・4
中国語教養特殊講義A	半期	2	3・4
中国語教養特殊講義B	半期	2	3・4
中国民俗文化特殊講義A	半期	2	3・4
中国民俗文化特殊講義B	半期	2	3・4
人文総合特殊講義A	半期	2	3・4
人文総合特殊講義B	半期	2	3・4

※1 日本文学科の学生は、専門教育科目として履修可。

※2 文学部以外の学生は、専門教養として履修可。

※3 日本文学科の学生は履修不可。

※4 日本文学科・初等教育学科以外の学生のみ履修可。

授業科目	開講	単位	学年
中国学特殊講義Ⅰ（文学）	半期	2	3・4
中国学特殊講義Ⅱ（文学）	半期	2	3・4
中国学特殊講義Ⅲ（中国語応用）	半期	2	3・4
中国学特殊講義Ⅳ（中国語応用）	半期	2	3・4
中国学特殊講義Ⅴ（中国語応用）	半期	2	3・4
中国学特殊講義Ⅵ（思想・宗教）	半期	2	3・4
中国学特殊講義Ⅶ（思想・宗教）	半期	2	3・4
中国学特殊講義Ⅷ（歴史）	半期	2	3・4
中国学特殊講義Ⅸ（歴史）	半期	2	3・4
中国学特殊講義Ⅹ（芸術）	半期	2	3・4
中国学特殊講義ⅩⅠ（芸術）	半期	2	3・4
中国学特殊講義ⅩⅡ（生活文化）	半期	2	3・4
中国学特殊講義ⅩⅢ（生活文化）	半期	2	3・4
中国学特殊講義ⅩⅣ（言語文化）	半期	2	3・4
中国学特殊講義ⅩⅤ（言語文化）	半期	2	2～4
中国学特殊講義ⅩⅥ（言語文化）	半期	2	2～4
日本文学概論Ⅰ ^{※4}	半期	2	1
日本文学概論Ⅱ ^{※4}	半期	2	1
日本語学概論Ⅰ ^{※4}	半期	2	1
日本語学概論Ⅱ ^{※4}	半期	2	1
日本文学概論Ⅱ ^{※4}	半期	2	1

セメスター留学(中国語圏)認定科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
中国語教養基礎Ⅱ	半期	2	2
中国語教養基礎Ⅲ	半期	2	2
中国学特殊講義ⅩⅤ（言語文化）	半期	2	2～4
中国学特殊講義ⅩⅥ（言語文化）	半期	2	2～4
中国学特殊講義ⅩⅦ（言語文化）	半期	2	2～4

【外国語文化学科開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
外国文化入門※	半期	2	1
英語コミュニケーション演習 A	半期	2	3・4
英語コミュニケーション演習 B	半期	2	3・4
ドイツ語コミュニケーション演習 A	半期	2	3・4
ドイツ語コミュニケーション演習 B	半期	2	3・4
フランス語コミュニケーション演習 A	半期	2	3・4
フランス語コミュニケーション演習 B	半期	2	3・4
中国語コミュニケーション演習 A	半期	2	3・4
中国語コミュニケーション演習 B	半期	2	3・4
英語展開演習 A	半期	2	3・4
英語展開演習 B	半期	2	3・4
ドイツ語展開演習 A	半期	2	3・4
ドイツ語展開演習 B	半期	2	3・4
フランス語展開演習 A	半期	2	3・4
フランス語展開演習 B	半期	2	3・4
中国語展開演習 A	半期	2	3・4
中国語展開演習 B	半期	2	3・4
英米語概論 I	半期	2	3・4
英米語概論 II	半期	2	3・4
ドイツ語研究 I	半期	2	3・4
ドイツ語研究 II	半期	2	3・4
フランス語研究 I	半期	2	3・4
フランス語研究 II	半期	2	3・4

授業科目	開講	単位	学年
中国語研究 I	半期	2	3・4
中国語研究 II	半期	2	3・4
日本語学 I	半期	2	3・4
日本語学 II	半期	2	3・4
ビジネス英語 I	半期	2	2～4
ビジネス英語 II	半期	2	2～4
英米地域文化論 I	半期	2	2
英米地域文化論 II	半期	2	2
ヨーロッパ地域文化論 I	半期	2	2
ヨーロッパ地域文化論 II	半期	2	2
中国地域文化論 I	半期	2	2
中国地域文化論 II	半期	2	2
外国文学 I (英)	半期	2	3・4
外国文学 II (米)	半期	2	3・4
外国文学 III (独)	半期	2	3・4
外国文学 IV (独)	半期	2	3・4
外国文学 V (仏)	半期	2	3・4
外国文学 VI (仏)	半期	2	3・4
外国文学 VII (中)	半期	2	3・4
外国文学 VIII (中)	半期	2	3・4
情報文化論 I	半期	2	3・4
情報文化論 II	半期	2	3・4

※ 文学部以外の学生は、専門教養として履修可。

※ () 内のテーマが異なれば、4 単位まで履修可。

【史学科開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
日本史概論Ⅰ	半期	2	1
日本史概論Ⅱ	半期	2	1
東洋史概論Ⅰ	半期	2	1
東洋史概論Ⅱ	半期	2	1
西洋史概論Ⅰ	半期	2	1
西洋史概論Ⅱ	半期	2	1
考古学概論Ⅰ	半期	2	1
考古学概論Ⅱ	半期	2	1
地域文化と景観概論Ⅰ	半期	2	1
地域文化と景観概論Ⅱ	半期	2	1
日本時代史Ⅰ	半期	2	1
日本時代史Ⅱ	半期	2	1
日本時代史Ⅲ	半期	2	1
日本時代史Ⅳ	半期	2	1
日本時代史Ⅴ	半期	2	1
日本時代史Ⅵ	半期	2	1
日本時代史Ⅶ	半期	2	1
日本時代史Ⅷ	半期	2	1
東洋地域史Ⅰ	半期	2	1
東洋地域史Ⅱ	半期	2	1
東洋地域史Ⅲ	半期	2	1
東洋地域史Ⅳ	半期	2	1
西洋地域史Ⅰ	半期	2	1
西洋地域史Ⅱ	半期	2	1
西洋地域史Ⅲ	半期	2	1
西洋地域史Ⅳ	半期	2	1
考古学各論Ⅰ	半期	2	1
考古学各論Ⅱ	半期	2	1

授業科目	開講	単位	学年
考古学各論Ⅲ	半期	2	1
考古学各論Ⅳ	半期	2	1
考古学各論Ⅴ	半期	2	1
考古学各論Ⅵ	半期	2	1
地域文化各論Ⅰ	半期	2	1
地域文化各論Ⅱ	半期	2	1
地域文化各論Ⅲ	半期	2	1
地域文化各論Ⅳ	半期	2	1
文化景観各論Ⅰ	半期	2	1
文化景観各論Ⅱ	半期	2	1
地域からみた日本の歴史Ⅰ※	半期	2	1
地域からみた日本の歴史Ⅱ※	半期	2	1
地域からみた日本の歴史Ⅲ※	半期	2	1
地域からみた日本の歴史Ⅳ※	半期	2	1
東アジア史Ⅰ※	半期	2	1
東アジア史Ⅱ※	半期	2	1
有職故実Ⅰ	半期	2	2
有職故実Ⅱ	半期	2	2
古文書学Ⅰ	半期	2	2
古文書学Ⅱ	半期	2	2
日本文化史Ⅰ	半期	2	2
日本文化史Ⅱ	半期	2	2
文化人類学Ⅰ	半期	2	2
文化人類学Ⅱ	半期	2	2
人文地理学	半期	2	2
自然地理学	半期	2	2
地誌学	半期	2	2

※ 文学部以外の学生は、専門教養として履修可。

【哲学科開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
西洋哲学史ⅠA	半期	2	1
西洋哲学史ⅠB	半期	2	1
倫理学A	半期	2	1・2
倫理学B	半期	2	1・2
論理学A※5	半期	2	1・2
論理学B※1	半期	2	1・2
芸術学A※5	半期	2	1・2
芸術学B	半期	2	1・2
哲学概論A	半期	2	2・3
哲学概論B	半期	2	2・3
美学A※5	半期	2	2・3
美学B	半期	2	2・3
日本哲学A	半期	2	2・3
日本哲学B	半期	2	2・3
西洋哲学史ⅡA	半期	2	1・2
西洋哲学史ⅡB	半期	2	1・2
日本思想史A	半期	2	1・2
日本思想史B	半期	2	1・2
中国思想史A※6	半期	2	1・2
中国思想史B※6	半期	2	1・2
インド思想史A	半期	2	2・3
インド思想史B	半期	2	2・3
日本美術史A※5	半期	2	1・2
日本美術史B	半期	2	1・2
東洋美術史A	半期	2	1・2
東洋美術史B	半期	2	1・2
西洋美術史A	半期	2	1・2
西洋美術史B	半期	2	1・2
応用倫理学A	半期	2	3

授業科目	開講	単位	学年
応用倫理学B	半期	2	3
科学哲学A	半期	2	2
科学哲学B	半期	2	2
現代哲学A	半期	2	3
現代哲学B	半期	2	3
宗教哲学A	半期	2	3
宗教哲学B	半期	2	3
言語論A	半期	2	3・4
言語論B	半期	2	3・4
比較思想A	半期	2	3・4
比較思想B	半期	2	3・4
キリスト教概論A	半期	2	3
キリスト教概論B	半期	2	3
仏教概論A	半期	2	3
仏教概論B	半期	2	3
比較芸術学A	半期	2	3・4
比較芸術学B	半期	2	3・4
ギリシャ語Ⅰ	半期	2	1・2
ギリシャ語Ⅱ※2	半期	2	1・2
ギリシャ語Ⅲ※2	半期	2	2・3
ギリシャ語Ⅳ※2	半期	2	2・3
ラテン語Ⅰ	半期	2	1・2
ラテン語Ⅱ※3	半期	2	1・2
ラテン語Ⅲ※3	半期	2	2・3
ラテン語Ⅳ※3	半期	2	2・3
サンスクリット語Ⅰ	半期	2	1・2
サンスクリット語Ⅱ※4	半期	2	1・2
サンスクリット語Ⅲ※4	半期	2	2・3
サンスクリット語Ⅳ※4	半期	2	2・3

※1 履修にあたって、「論理学A」の単位修得が条件です。

※2 履修にあたって、「ギリシャ語Ⅰ」の単位修得が条件です。

※3 履修にあたって、「ラテン語Ⅰ」の単位修得が条件です。

※4 履修にあたって、「サンスクリット語Ⅰ」の単位修得が条件です。

※5 文学部以外の学生は、専門教養として履修可。

※6 中国文学科の学生は履修不可。

【法学部開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
法教育入門	半期	2	1
行政組織法	半期	2	3・4
地方自治法	半期	2	3・4
刑事政策 A	半期	2	3・4
刑事政策 B	半期	2	3・4
企業法務	半期	2	3・4
税法 A	半期	2	3・4
税法 B	半期	2	3・4
経済法 A	半期	2	3・4
経済法 B	半期	2	3・4
知的財産法 A	半期	2	3・4
知的財産法 B	半期	2	3・4
不動産登記法	半期	2	3・4
環境法	半期	2	3・4
消費者法	半期	2	3・4
政治学概論	半期	2	1
法哲学 A	半期	2	3・4
法哲学 B	半期	2	3・4
外国法 A	半期	2	3・4
外国法 B	半期	2	3・4
法制史 A	半期	2	3・4
法制史 B	半期	2	3・4
法社会学 A	半期	2	3・4
法社会学 B	半期	2	3・4
法律学特殊講義Ⅱ	半期	2	3・4
行政学 A	半期	2	2
行政学 B	半期	2	2
国際政治 A	半期	2	2
国際政治 B	半期	2	2
日本政治思想史 A	半期	2	2
日本政治思想史 B	半期	2	2
西洋政治思想史 A	半期	2	2

※1 テーマが異なれば複数履修可。

※2 題目・テーマが異なれば4単位まで複数履修可。

授業科目	開講	単位	学年
西洋政治思想史 B	半期	2	2
社会学 A	半期	2	3・4
社会学 B	半期	2	3・4
政治哲学 A	半期	2	3・4
政治哲学 B	半期	2	3・4
日本政治史 A	半期	2	1
日本政治史 B	半期	2	1
西洋政治史 A	半期	2	1
西洋政治史 B	半期	2	1
20 世紀の政治 A	半期	2	1
20 世紀の政治 B	半期	2	1
国際関係史 A	半期	2	1
国際関係史 B	半期	2	1
日本外交史 A	半期	2	2
日本外交史 B	半期	2	2
アジア政治史 A	半期	2	2
アジア政治史 B	半期	2	2
日本の政治 A	半期	2	2
日本の政治 B	半期	2	2
比較政治 A	半期	2	3・4
比較政治 B	半期	2	3・4
地方自治論 A	半期	2	3・4
地方自治論 B	半期	2	3・4
地域研究※1	半期	2	3・4
法教育演習	半期	2	3・4
政治学特殊講義Ⅱ	半期	2	3・4
公共政策	半期	2	2
平和研究	半期	2	3・4
環境政治学	半期	2	3・4
地域研究演習※2	半期	2	3・4
心理学 A	半期	2	3・4
心理学 B	半期	2	3・4

【経済学部開講科目】 ※1・2

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
社会科学入門	半期	2	2
マクロ経済Ⅰ◆ ¹	半期	2	2
マクロ経済Ⅱ◇ ¹	半期	2	2
ミクロ経済Ⅰ◆ ¹	半期	2	2
ミクロ経済Ⅱ◇ ¹	半期	2	2
ビジネスリサーチ◇ ²	半期	2	2
財政の基礎	半期	2	3
金融の基礎	半期	2	3
現代日本経済	半期	2	3
国際経済◆ ²	半期	2	3
労働経済◇ ³	半期	2	3
社会経済学	半期	2	3
地域と都市の経済◇ ¹	半期	2	3
日本経済史Ⅰ◇ ⁴	半期	2	3
西洋経済史Ⅰ◇ ⁴	半期	2	3
日本経済と政策◆ ³	半期	2	3
社会保障論◆ ³	半期	2	3
ジェンダーと経済	半期	2	3
国際通貨と国際金融◇ ⁵	半期	2	3
経済学特論※ ³	半期	2	2
経営学特論※ ³	半期	2	2
Business CommunicationⅠ	半期	2	2
Business CommunicationⅡ	半期	2	2

授業科目	開講	単位	学年
経営戦略◇ ⁶	半期	2	3
経営組織◇ ⁶	半期	2	3
経営学史◆ ⁴ ※ ⁴	半期	2	3
マーケティングの基礎◇ ⁶	半期	2	3
流通論◇ ¹⁰	半期	2	3
現代ビジネス◇ ⁶	半期	2	3
経営史◆ ⁴	半期	2	3
国際経営◇ ⁶	半期	2	3
企業財務◇ ⁶	半期	2	3
財務会計◇ ⁷	半期	2	3
予算管理◇ ⁷	半期	2	3
原価計算◇ ⁷	半期	2	3
応用財務会計◇ ⁸	半期	2	3
公会計◇ ⁷	半期	2	3
国際会計◇ ⁸	半期	2	3
企業監査◇ ⁷	半期	2	3
企業法	半期	2	3
情報システム◇ ⁹	半期	2	3
データ処理◇ ⁹	半期	2	3
データ管理◇ ⁹	半期	2	3
プログラミング◇ ⁹	半期	2	3
雇用と働き方	半期	2	2

※1 ◇のついている授業科目の履修に際しては、単位修得が履修条件となる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目	記号	単位修得が履修条件となる科目
◇1	経済理論入門（専門教養）	◇2	経済経営数学入門（専門教養）	◇3	現代日本経済
◇4	経済史入門（専門教養）	◇5	金融の基礎	◇6	経営入門（専門教養）
◇7	会計入門（専門教養）	◇8	財務会計	◇9	コンピュータと情報Ⅰ（共通教育）
◇10	マーケティングの基礎				

※2 ◆のついている授業科目の履修に際しては、事前に単位修得が望まれる科目がありますので、以下の表で確認してください。

記号	事前に単位修得が望まれる科目	記号	事前に単位修得が望まれる科目	記号	事前に単位修得が望まれる科目
◆1	経済理論入門（専門教養）	◆2	世界経済入門（専門教養）	◆3	現代日本経済
◆4	経営入門（専門教養）				

※3 テーマが異なれば複数履修可。

※4 経済学科以外の学生は、専門教養として履修可。

【神道文化学部開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
神道史学ⅠA	半期	2	1
神道史学ⅠB	半期	2	1
古典講読ⅠA	半期	2	1
古典講読ⅠB	半期	2	1
宗教学Ⅰ	半期	2	1
宗教学Ⅱ	半期	2	1
祭祀学Ⅰ	半期	2	3
祭祀学Ⅱ ^{※1}	半期	2	3
神道史学ⅡA	半期	2	2
神道史学ⅡB	半期	2	2
神道思想史学Ⅰ	半期	2	2
神道思想史学Ⅱ ^{※2}	半期	2	2
古典講読ⅡA	半期	2	2
古典講読ⅡB ^{※3}	半期	2	2
国学概論Ⅰ	半期	2	2
国学概論Ⅱ	半期	2	2
世界宗教文化論Ⅰ	半期	2	1
世界宗教文化論Ⅱ	半期	2	1
日本宗教文化論Ⅰ	半期	2	1
日本宗教文化論Ⅱ	半期	2	1
宗教考古学Ⅰ	半期	2	2
宗教考古学Ⅱ	半期	2	2

授業科目	開講	単位	学年
宗教社会学Ⅰ	半期	2	2
宗教社会学Ⅱ	半期	2	2
比較文化学Ⅰ	半期	2	2
比較文化学Ⅱ	半期	2	2
神道と国際交流Ⅰ	半期	2	3
神道と国際交流Ⅱ	半期	2	3
神道と環境Ⅰ	半期	2	2
神道と環境Ⅱ	半期	2	2
神道と情報化社会Ⅰ	半期	2	3
神道と情報化社会Ⅱ	半期	2	3
教派神道研究Ⅰ	半期	2	3
教派神道研究Ⅱ	半期	2	3
キリスト教文化研究Ⅰ	半期	2	2
キリスト教文化研究Ⅱ	半期	2	2
仏教文化研究Ⅰ	半期	2	2
仏教文化研究Ⅱ	半期	2	2
中東文化研究Ⅰ	半期	2	3
中東文化研究Ⅱ	半期	2	3
東アジア文化研究Ⅰ	半期	2	3
東アジア文化研究Ⅱ	半期	2	3
宗教芸術研究Ⅰ	半期	2	3
宗教芸術研究Ⅱ	半期	2	3

※1 履修にあたって、「祭祀学Ⅰ」の単位修得が条件です。

※2 履修にあたって、「神道思想史学Ⅰ」の単位修得が条件です。

※3 履修にあたって、「古典講読ⅡA」の単位修得が条件です。

【初等教育学科開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
伝統文化と生活論	半期	2	3
伝統文化授業論	半期	2	3・4
理科授業構成論	半期	2	3・4
コンピュータ分析法	半期	2	3・4
算数科授業構成論	半期	2	3・4
こども生活基礎論	半期	2	1
人権教育論	半期	2	3・4
地域教育社会学	半期	2	2・3

授業科目	開講	単位	学年
家庭教育論	半期	2	2・3
臨床教育学	半期	2	2・3
人間形成の心理学	半期	2	2・3
ジェンダーと社会教育	半期	2	3・4
企業内教育Ⅰ	半期	2	3・4
企業内教育Ⅱ	半期	2	3・4
社会学A	半期	2	3・4
社会学B	半期	2	3・4

【健康体育学科開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
運動生理学	半期	2	1
運動技能未開発者の指導	半期	2	2
アダプテッドスポーツ	半期	2	2・3
メンタルヘルス	半期	2	2・3
体力トレーニング論	半期	2	2・3
スポーツの倫理	半期	2	2・3
コンディショニング	半期	2	2・3
ジュニアスポーツ指導論	半期	2	2・3
スポーツ行政論	半期	2	3・4
体育社会学	半期	2	1・2
スポーツと法	半期	2	2・3

授業科目	開講	単位	学年
体育スポーツ経営学	半期	2	3・4
性別による身体特性	半期	2	2・3
健康管理論	半期	2	1・2
運動処方論	半期	2	2・3
摂食のしくみと食育	半期	2	2・3
保健社会学	半期	2	2・3
武道の国際比較	半期	2	1・2
スポーツ史	半期	2	1
身体論	半期	2	2・3
武道文化論	半期	2	2・3
統計と測定評価	半期	2	2・3

【子ども支援学科開講科目】

すべての学生が履修可能な科目一覧

授業科目	開講	単位	学年
幼児教育史	半期	2	3・4
教育の統計	半期	2	3・4
子ども文化論	半期	2	2

授業科目	開講	単位	学年
心の科学	半期	2	1
カウンセリング概論	半期	2	2・3
子育て支援システム論	半期	2	3・4